

(様式1)

令和6年度 学校評価結果報告書(高等学校用)

(1) 学校教育目標		全日制普通科単位制を生かし、生徒一人一人の興味・関心や進路志望等に応じたきめ細かな教育活動及び自己の可能性を最大限に引き出すキャリア教育により、個性を伸長するとともに、地域や大学、国内外の高校と連携・協働した探究活動を通して、教科等横断的な視点を育み、探究心を持った、社会の持続的な発展を担う人財を育成する。				学校整理番号	12
(2) 現状と課題		1 「進学重視型の単位制高校」であり、大学を含む上級学校進学率が90%を超えており、地域社会を牽引するリーダーの育成や青森県の課題解決に取り組むことができる人財の育成が求められている。また、生徒のニーズに応じた多様な選択科目の設定した教育課程の編成や習熟度別授業などきめ細やかな教育活動の充実が求められている。 2 悩み事等を抱える生徒に対する教育支援計画を作成し、具体的に組織的な支援の充実を図る必要がある。				学校名	青森県立八戸北高等学校
						全日制の課程	
						自己評価実施日	令和7年1月31日(金)
						学校関係者評価実施日	令和7年2月13日(木)
(3) 重点目標		1 授業力・生徒指導力・進路指導力のさらなる向上					
		2 生徒が安心して学べる環境作り					
		3 生徒が互いに教え合い学び合う学校風土の醸成					
		4 生徒個々に応じた指導					
(4) 結果の公表		学校ホームページで公表する					
自 己 評 価							
学校関係者評価							
(10) 次年度への課題と改善策							
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等		
1	授業力・生徒指導力・進路指導力のさらなる向上	・授業参観、研究授業や情報交換・研修会等への参加 ・大学や受験に関する情報収集	・授業参観週間の設定のほか研究授業を実施し、授業力向上につなげた。 ・研修会へ参加するとともに、積極的に情報収集に努めた。	A	・社会の変化、時代の流れ等もあり、県立高校を取り巻く環境も厳しくなっているが、より魅力ある学校づくりに取り組んで欲しい。	・ICTの効果的な活用方法についての情報収集や共有を図る。 ・生徒の進路志望に添った体験活動の充実を図る。	
2	生徒が安心して学べる環境作り	・個別面談の実施 ・教育支援委員会による取組 ・いじめアンケート、スクールカウンセラーやメンタルコーチの活用	・面談週間の設定のほか、日々の生徒観察に努め、状況に応じて面談を実施した。 ・定期的に教育支援委員会を開催し、情報共有に努めた。また、スクールカウンセラーと連携するなど対応を行った」。	A	・教育は、すぐ結果に結びつくわけではなく、卒業後のことも視野に入れて取り組む必要がある。アンケート等を有効活用し、生徒理解に努めながら粘り強く取り組んで欲しい。	・アンケート等についてよりよい活用の仕方を考えとともに面談のさらなる充実を図る。 ・スクールカウンセラーと教員との連携を深め、教員の資質向上を図る。	
3	生徒が互いに教え合い学び合う学校風土の醸成	・学習意欲向上のための働きかけ ・学習環境の整備 ・読書の励行	・学習法の指導、情報提供を継続し、自学力の向上及び生徒同士の教え合いにつなげた。 ・日常の清掃、計画的な環境整備を行った。 ・定期的に新着図書紹介や図書便りの発行を行うなど読書の励行に努めた。	B	・廊下に勉強するための机等が揃っており、とてもよい環境である。より意欲を高くもち、学校生活を送ることが出来るよう支援して欲しい。	・生徒がより主体的に学校生活を送ることができるよう生徒会を支援する。 ・引き続き、清掃活動や定期的な環境整備に努めよりよい環境づくりに取り組む。	
4	生徒個々に応じた指導	・習熟度別授業等によるきめ細やかな指導 ・教科面談の実施 ・授業アンケートの活用	・習熟度別授業による展開授業を行った。 ・考查修了後等に教科面談を実施し生徒理解に努めた。 ・授業アンケートにより生徒の把握及び授業づくりに活用した。	A	・アンケートからも先生方のよい取組状況が窺える。引き続き、よりよい指導を行い、生徒を導いて欲しい。	・「指導と評価の一体化」や個々に応じた指導の実践のために教員の資質、能力の向上に努める。 ・生徒との対話を深め、生徒理解に努め、生徒に寄り添った指導を行う。	
(11) 総括		学校の目指す姿として、学校教育目標を掲げるとともに、グラデュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーを設定、めざす教師像のもと、教職員一丸となり教育活動に取り組んだ。生徒の興味・関心や適性に対応する多様な選択科目の開設や、医療体験や学習支援ボランティアなど職業体験の充実を図るなど生徒の進路志望達成に向けて支援を行うほか、各行事では生徒会が中心となり主体的に取り組むことができるよう支援を行ってきた。次年度は、今回の学校評価でいただいた意見や保護者アンケートの結果を踏まえ、よりよい学校づくりを目指し教育活動に取り組みたい。					